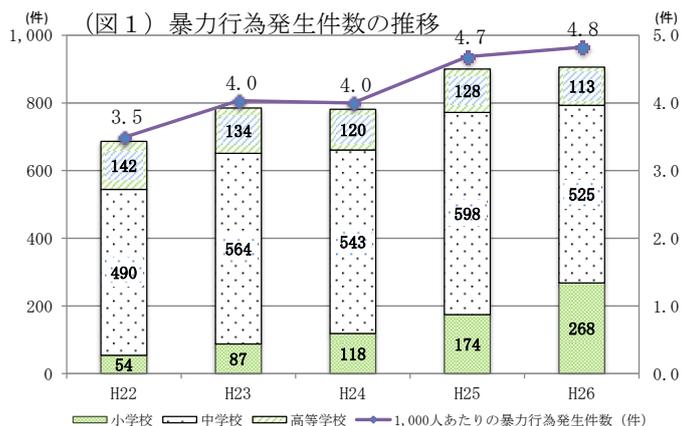


平成26年度 公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為の状況

1 概要 (図1参照)

平成26年度の公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為発生件数は906件で、平成25年度と比較して6件増加し、小学校は268件(前年度比94件増)、中学校は525件(前年度比73件減)、高等学校は113件(前年度比15件減)となっている。

公立小中学校及び県立高等学校における1,000人あたりの暴力行為発生件数は4.8件で、平成25年度(4.7件)と比較すると、0.1ポイント増加している。



2 形態別状況 (表1参照)

形態別では、生徒間暴力が591件(構成比65.2%)で最も多く、次いで対教師暴力194件(同21.4%)、器物損壊103件(同11.4%)、対人暴力18件(同2.0%)となっている。

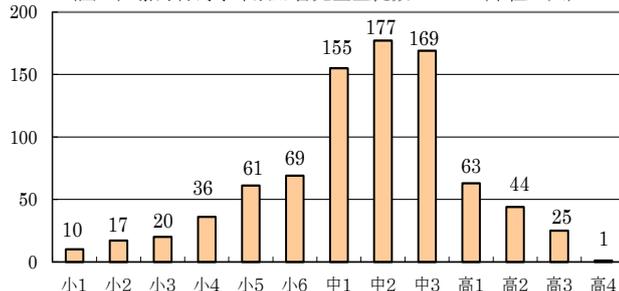
(表1) 暴力行為推移 (形態別) (単位: 件)

	H22	H23	H24	H25	H26 (構成比)	
対教師暴力	137	214	217	195	194	21.4%
生徒間暴力	387	421	416	565	591	65.2%
対人暴力	21	11	13	11	18	2.0%
器物損壊	141	139	135	129	103	11.4%
計	686	785	781	900	906	100.0%

3 学年別状況 (図2参照)

学年別加害児童生徒の総数は847人で、中学生が501人(構成比59.1%)を占めている。学年別では、中学2年生が177人(同20.9%)、続いて中学3年生169人(同20.0%)、中学1年生155人(同18.3%)となっている。

(図2) 暴力行為学年別加害児童生徒数 (単位: 人)



4 校種別状況 (表2参照)

中学校が525件(構成比57.9%)を占め、続いて小学校268件(同29.6%)、高等学校113件(同12.5%)となっている。

平成25年度と比較すると、小学校で94件の増加、中学校で73件の減少、高等学校で15件の減少となっている。

(表2) 暴力行為推移 (校種別) (単位: 件)

	H22	H23	H24	H25	H26 (構成比)	
小学校	54	87	118	174	268	29.6%
中学校	490	564	543	598	525	57.9%
高等学校	142	134	120	128	113	12.5%
計	686	785	781	900	906	100.0%
増減(▲)率(%)		14.4	▲0.5	15.2	0.7	

5 加害児童生徒実人数 (表3参照)

加害児童生徒実人数は、中学校が454人(構成比58.4%)を占め、小学校191人(同24.6%)、高等学校132人(同17.0%)となっている。

平成25年度と比較すると、小学校で43人の増加、中学校で53人の減少、高等学校で17人の減少となっている。

(表3) 加害児童生徒実人数推移 (校種別) (単位: 件)

	H22	H23	H24	H25	H26 (構成比)	
小学校	66	80	100	148	191	24.6%
中学校	425	506	460	507	454	58.4%
高等学校	185	153	160	149	132	17.0%
計	676	739	720	804	777	100.0%
増減(▲)率(%)		9.3	▲2.6	11.7	▲3.4	